

メリノパフォーマンス製品

製品

メリノパフォーマンス、メリノパフォーマンス・プロ、メリノパフォーマンス・アドバンテージは、本品質基準に記載された条件を満たす以下の製品タイプに使用することができる。

- アウターウェア
- アンダーウェアおよびベースレイヤー製品
- ミッドレイヤー製品
- ソックス
- アクセサリー（帽子、手袋など）

メリノパフォーマンス™プロの製品説明は、以下の製品にのみ適用することができる。

- 親水性表地と疎水性裏地を持つピュアウール織物から製造されたアンダーウェアまたはネクストトウスキン製品

メリノパフォーマンス™アドバンテージの製品説明は、以下の製品にのみ適用することができる。

- 親水性表地と疎水性裏地を持つブレンド生地から製造されたアンダーウェアまたはネクストトウスキン製品
- アウターウェアおよびミッドレイヤー製品は、通常他の衣類の上に着用するよう設計され、肌との接触が最小限の衣類と定義される。
- ネクストトウスキン製品およびアンダーウェアは、通常他の衣類の下に着用するよう設計され、肌と直接接触する衣類と定義される。

すべての製品

本品質基準で特に指定しない限り、すべての製品は、品質基準「AK-1（ニット衣類）」または「AW-1（織物衣類）」に記載された要件を満たさなければならない。

特性	試験方法	アウターウェア ミッドレイヤー	アンダーウェア ネクストトゥスキン	アクセサリー
羊毛混用率（%：以上） ウールマーク ウールマークブレンド ウールブレンド	155	新毛 100% 50% 30%		
平均羊毛繊維直径（ μm ：以下）	22 23 24	22.5	19.75	22.5 ネクストトゥスキン製品は 19.5
コンフォートファクター （%：以上）			99%	ネクストトゥスキン製品は 99%
織物構造			注を参照	
衣類構造 （該当する場合）	206	メリノパフォーム™アウターレイヤー製品については、メリノパフォーム素材以外の使用がアウターレイヤー製品重量の5%を超えてはならない。裏地除く		
摩擦堅牢度（級：以上） （淡色、未染色、漂白製品を除く） 乾 湿	165	3-4 2-3	3-4 2-3	3-4 2-3
親水性/疎水性表面	AATCC-195		水滴が織物表面に拡散する	

この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

1. ウールマーク TM155：羊毛混用率

羊毛混用率の誤差は、ウールマークで 0.3%、ウールマークブレンドおよびウールブレンドで 3%とする。織物または衣類の羊毛混用率は、公称混用率 3%以内とする。どんな合成糸を使用しても構わない。

メリノパフォーム™織物に機能性を付与するためのメンブレン仕上げ（Gore-Tex®などで使用されている）は、羊毛混用率の計算から除く。

2. ウールマーク TM22、TM23、TM24：平均羊毛繊維直径およびコンフォートファクター

この測定は、完成品から採取した糸または繊維（適宜）に対して実施される。繊維直径要件（試料採取および試験許容範囲を含む）は、最終製品段階で適用される。平均繊維直径は、繊維加工時における微細繊維の選択的喪失の結果として大きくなることもある。特定の環境でどの程度の変化が起こるかは分かっていないが、最終製品要件を満たすには、原料段階で 19 μm （ベースレイヤーおよびアンダーウェア衣類）および 22 μm （アウターウェアおよびアクセサリー）に近い直径の羊毛を選ぶことを推奨する。

TM22 または TM23 を使用して繊維直径を求める場合、糸の撻りが強いと不正確な結果を示すことがある。そのような場合、ウールマーク TWC-TM24 の結果を承認する。異議が生じた場合は、ウールマーク TWC-TM24 の結果を承認しなければならない。

アクセサリーでは、平均繊維直径の限界は 22.5 μm とするが、製品がネクストトゥスキン用途であると妥当に考えられる場合を除く。この場合は、19.75 μm を使用する。この要件は、ソックスには適用されない。

3. 織物構造

ウールマークブレンドおよびウールブレンド製品では、羊毛繊維は、単糸において 1 種類の合成繊維と混合される。混用率の異なる単糸をより合わせると双糸になる。

3.1. メリノパフォーム™プロ

この織物は、衣類表面を形成する織物表地が親水特性を示すように構成し、仕上げを施す。衣類内側を形成する衣類裏地は、疎水特性を示すようにする。

3.2. メリノパフォーム™アドバンテージ

この織物は、少なくとも 2 種類の糸から構成される。この織物は、衣類表面を形成する織物面が親水特性を示すように構成し、仕上げを施す。衣類内側を形成する衣類裏地は、疎水特性を示すようにする。

3.3. ラミネート織物

ラミネート織物（接着剤などで織物を貼り付けたもの）は、アウターまたはシェル織物と、インナーレイヤーまたは裏地の、2つの織物として取り扱う。

4. 衣類構造

4.1. メリノパフォーム™プロおよびメリノパフォーム™アドバンテージ

生地を表地が衣類の外側に現れなければならない。

4.2. 羊毛混シェル織物を使用したアウターウェア

シェル織物だけがこの品質基準の要件を満たさなければならない。裏地および接着素材は、羊毛でなくてもよい。

4.3. 非毛シェル織物を使用したアウターウェア

羊毛混裏地素材は、この品質基準の要件を満たさなければならない。メリノパフォーム™衣類に使用する裏地素材がピュアウールの場合、ラベルには「ピュアウール裏地」の文言を含めなければならない。メリノパフォーム™衣類に使用する裏地素材がウールブレンドの場合、ラベルには「ウールブレンド裏地」の文言を含めなければならない。

4.4. ラミネート織物

衣類を構成するために使用されるラミネート織物の内側要素がピュアウールまたはウールブレンド織物の場合、「ピュアニューウール裏地」または「ウールリッチブレンド裏地」の文言を含むメリノパフォームラベルを製品に付ける。

5. ウールマーク TM165 摩擦堅牢度

本試験は、標準濃度の 1/12 以上の濃度の製品でのみ要求される。未染色・漂白製品については、染色堅牢度を評価しない。

織物の表地および裏地は、別々に試験する。

6. AATCC-195:生地液体湿気管理快適性

この試験は、メリノパフォーム™プロおよびメリノパフォーム™アドバンテージ製品にのみ必要となる。

織物の内側に滴下した模擬汗 1 滴 (0.25ml) (AATCC195) が織物の外側に拡散すること。この方法 (2010) は、米国繊維化学技術・染色技術協会 (AATCC) から入手できる。

ドライクリーニングのみ、または手洗い製品

特性	試験方法	アウターウェア ミッドレイヤー	アンダーウェア ネクストトゥスキン	アクセサリ
緩和寸法変化率 (%) 編物 丈 巾 面積 織物 経 緯 洗濯サイクルの回数およびタイプ ドライクリーニング 手洗い	31	-10 < DC DC < +5 -3 < DC -3 < DC 測定せず 1 × 7A	適用しない	-10 < DC DC < +5 -3 < DC -3 < DC 測定せず 1 × 7A
寸法変化率—フェルト (%) 編物 丈 巾 面積 織物 経 緯 エッジ差 洗濯サイクルの回数およびタイプ ドライクリーニング 手洗い	31	- - -8 < DC -3 < DC -3 < DC -1 < DC < 1	適用しない	- - -8 < DC -3 < DC -3 < DC -1 < DC < 1
合計寸法変化率 (%) 編物 丈 巾 面積 織物 経 緯	31	-5 < DC DC < +5 -3 < DC -3 < DC	適用しない	
洗濯後の外観変化	31/298	著しい外観変化が ないこと	適用しない	著しい外観変化が ないこと
手洗い堅牢度 (級: 以上) 変退色化 羊毛汚染 他繊維汚染	250.	3-4 4 3-4	適用しない	3-4 4 3-4
湿潤アルカリ堅牢度 (級: 以上) 変退色 羊毛汚染 他繊維汚染 (単色を除く)	174	3-4 4 3-4	適用しない	3-4 4 3-4

この表は、必ず下記の取扱表示品質基準の注と併せて読むこと。

マシンウォッシュブル製品

特性	試験方法	アウターウェア ミッドレイヤー	アンダーウェア ネクストトウスキ ン	アクセサリ
寸法変化率－緩和 (%) 編物 丈 巾 面積 織物 経 緯 洗濯サイクルの回数およびタイプ	31		-10 < DC DC < +5 -3 < DC -3 < DC 1 × 7A	-10 < DC DC < +5 -3 < DC -3 < DC 1 × 7A
寸法変化率－フェルト (%) 編物 丈 巾 面積 織物 経 緯 エッジ差 洗濯サイクルの回数およびタイプ	31	— — -8 < DC -3 < DC -3 < DC -1 < DC < 1 3 × 5A	— — -8 < DC -3 < DC -3 < DC -1 < DC < 1 5 × [5A+TD]	— — -8 < DC -3 < DC -3 < DC -1 < DC < 1 3 × 5A
寸法変化率－合計 (%) 編物 丈 巾 面積 織物 経 緯	31	-5 < DC DC < +5 — -3 < DC -3 < DC	-5 < DC DC < +5 — -3 < DC -3 < DC	
洗濯後の外観変化 洗濯サイクルの回数およびタイプ	31/298	著しい外観変化がないこと		
		1 × [7A + TD] + 2 × [5A + TD]	1 × [7A + TD] + 5 × [5A + TD]	
洗濯機洗い堅牢度 (級：以上) (A、B 法) 変退色 羊毛汚染 他繊維汚染 (未染色、漂白製品を除く)	193 パート A パート B	3-4 4 3-4	3-4 4 3-4	3-4 4 3-4
湿潤アルカリ堅牢度 (級：以上) 変退色 羊毛汚染 他繊維汚染 (単色、未染色、漂白製品を除く)	174	3-4 4 3-4	3-4 4 3-4	3-4 4 3-4

この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

1. ウールマーク TWC-TM31：寸法安定性

この試験で行うすべての測定に限界があるわけではないが、どれも TM31 の要件に従って報告しなければならない。「非指定」測定は、小売業者がウールマーク品質基準を使用する一方で、独自の要件に関連した衣類評価を行うのを支援するために含まれる。

- [7A+TD] – 7A洗濯後、タンブル乾燥

- [5A+TD] – 5A洗濯後、タンブル乾燥
- 合計 = 緩和収縮+ フェルト収縮

「縮み」はマイナス値によって表され、「伸び」はプラス値によって表される。

1.1. 寸法変化率—緩和

この測定は、ドライクリーニングのみの製品には使用されない。

1.2. 寸法変化率—フェルト

TM31 に示すとおり、フェルトの「元測定値」は 1 × 7A 洗浄サイクル後の寸法に基づく。ドライクリーニングのみの場合、寸法変化率は元の寸法に基づく。

1.3. アウターウェア、ミッドレイヤー、およびアクセサリーのタンブル乾燥性能

アウターウェアに洗濯およびタンブル乾燥性能（トータル・イージーケア）が要求される場合、緩和サイクル 1 回中に 1 × 7A とタンブル乾燥を行う（つまり、1 × [7A +TD]）。1 回のフェルト化サイクルでは、5 回の 5A サイクルとそれぞれの後にタンブル乾燥を実施する（5 × [5A + TD]）。寸法変化率の限界は変わらない。

1.4. 洗濯およびタンブル乾燥後の外観

タンブル乾燥は、衣類の外観に悪影響を及ぼす可能性がある。この品質基準を表示するには、ウールマーク TWC-31/TM298 を実施する必要がある。この試験方法では、以下の実施後に外観を主観的に評価する。

ベースレイヤーおよびアンダーウェアについては、 $1 \times [7A + TD] + 5 \times [5A + TD]$
アウターウェアおよびミッドレイヤーについては、 $1 \times [7A + TD] + 2 \times [5A + TD]$

2. ウールマーク TM250:手洗い堅牢度

「他繊維汚染」は、隣接する織物の中で最もひどく汚染された繊維と定義される。未染色・漂白製品については、染色堅牢度を評価しない。

3. ウールマーク TWC-TM193:洗濯機洗い堅牢度

本試験は、2つの部分に分かれている。

パート A：過ホウ酸塩の入っていない標準的な洗剤

パート B：過ホウ酸塩入りの標準的な洗剤

使用方法は、パート A およびパート B の両方である。

製品が A には合格したが、パート B では不合格であった場合、衣類に添付するラベルおよび札に以下の表記を行わなければならない。「ウールマーク承認洗剤を使用して洗濯すること」（またはこれに類似する内容）。これらの追加要件の詳細は、ザ・ウールマーク・カンパニーから入手できる。

3.1. 未染色・漂白製品については、染色堅牢度を評価しない。

3.2. 「他繊維汚染」は、隣接する織物の中で最もひどく汚染された繊維と定義される。

「ストレッチ」関連の表示がある製品

特性	試験方法	合格基準
伸び率—経方向および緯方向 (% : 以上)	179	20
非回復伸び率 ウェールおよびコース (% : 以下)		3